

== 関係部署にご回覧下さい ==

LPGC Report

エルピーガス振興センターレポート

第29号 January 2006

新年のご挨拶	1
平成18年度予算要求概要	2
トピックス	
・韓国エルピーガス工業協会訪日調査団 振興センターを来訪	3
各部・室からのお知らせ	
・設備助成事業室 平成17年度石油ガスコジェネ利用の実施概況	5
・広報室 「LPガス便利帳」のご紹介	7
・調査研究部 LPガス国際セミナー2006 開催案内	8
・技術開発部 「DME 燃料実用化技術ガイドブック」発刊のご案内	8
事務局からのお知らせ	
・平成17年度第2回評議員会・理事会 開催案内	10
編集後記	10

新年のご挨拶

財団法人エルピーガス振興センター
理事長 武内 正明

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年のエルピーガス振興センターは、皆さまのご支援・ご協力をいただきまして、私どもに課せられた使命の達成に向けての取り組みを着実に進めることができましたことを、厚く御礼申し上げます。

本年も、LPガスの安定供給や流通合理化、地球温暖化への対応などを念頭におきながら、「技術開発」、「調査研究」、「設備助成」、「国際交流」ならびに「広報」の各分野での事業の継続を基本として、新規性も加味しつつ、鋭意取り組みを進めてまいります。引き続き皆さまのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

各事業別に、本年の取り組みのポイントとなることごらを紹介しながら、簡単に述べさせていただきます。

まず、「技術開発事業」ですが、ここでは昨年まで実施してきている2つのテーマ、すなわち「DMEと燃料電池に関する事業」を継続実施してゆく予定です。DMEについては、昨年より着手開始した利用機器の転用可能性の検証等を進めてまいります。燃料電池については、これまでの研究成果をメンブレンの活用等に継いでゆきたいと考えています。

次に「調査研究事業」ですが、LPガスの安定供給に資することを旨とした「石油ガス開発等供給多様化調査」等を継続してまいります。本年の調査先も、これまでの実績と皆さまからのニーズ等を勘案して、2～3ヵ国・地域を予定しています。

一方「設備助成事業」ですが、案件別ではその予算の実行状況に大きなバラツキがありますので、利用者の方々へのご紹介・周知をさらに進めることなどで、利用の充実を図ってゆきたいと思っております。この設備助成については、基本的には昨年度と同じ対象を取り扱ってゆきたいと考えていますが、予算のつきかたなどにより変更や工夫の必要があるかもしれません。

次に「国際交流事業」ですが、この中心になるのは、毎年2月末頃に開催しています「国際セミナー」です。このセミナーは年々参加者も増えて好評を頂いていることもあり、本年も皆さまのご協力を仰ぎながら、意義あるものになりたいと思っております。

また、本年はシカゴで開催されるWLPGAのフォーラムにあわせて「LPガスの国際技術会議」も開催され、日本からも多くの発表が予定されていることから、これらの国際交流のお手伝いもできればと思っております。

そして「広報・啓蒙活動」ですが、ここではLPガスの良さについて一般消費者の皆さまにご理解を深めてもらうための広報誌の発行をはじめとして、「LPガスの流通合理化や近代化」に資する講習会や懇談会などを着実に実施してゆきたく考えています。

新年のご挨拶といたしまして、振興センターの本年の取り組みの概要につきまして簡単にご紹介させていただきましたが、いずれにしても、原油価格に引きずられたLPガスの高価格状態のもとで、地球温暖化対応やエネルギー間競争への適切な対応を図ってゆかなければなりません。こうした環境のもとで取り組みを進められる皆さまに、振興センターの活動が少しでもお手伝いできれば幸いと、願うところです。

本年も、私どもは、振興センターとしてのなすべき課題を的確に果たすべく努めてまいり所存でございますので、どうぞ皆さまには倍旧のご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。本年が皆さまには、実り多い年になりますようお祈り申し上げます。

平成 18 年度予算要求

昨年末、財務省より平成18年度政府予算案が各省に提示されました。LPガス関係の予算概要は、次の通りとなっています。

	〔 18年度 内示額 〕	〔 17年度 予算額 〕	〔 増 減 〕
1. 流通合理化関係			
LPガス流通合理化対策事業	1,582	2,482	900
内、石油カガス充てん所統廃合支援事業	(180)	(1,029)	(849)
LPガス利用設備導入促進事業	621	652	31
内、石油ガスコジェネ導入促進事業	(110)	(242)	(132)
LPガス流通合理化対策調査	706	605	101
内、石油ガス流通合理化調査	(113)	(119)	(6)
計	2,908 百万円	3,739 百万円	831 百万円
2. DME燃料実用化・LPガス供給多様化関係			
DME燃料実用化普及促進研究委託費	292	297	5
DME燃料利用機器開発事業	296	380	100
LPガス合成技術開発事業	156	160	4
計	744 百万円	837 百万円	93 百万円
3. 燃料電池関係			
高耐久性メンブレン型LPガス改質装置開発事業	100	0	100
LPガス固体高分子形燃料電池システム開発事業	0	83	83
計	100 百万円	83 百万円	17 百万円
4. LPガス保安対策関係			
石油ガス供給事業安全管理技術開発等委託費	835	868	33
バルク供給システム技術基準性能規定化のための 調査研究委託費	0	149	149
計	835 百万円	1,017 百万円	182 百万円
<hr/>			
LPガス産業関係 合計	4,587 百万円	5,675 百万円	1,088 百万円
5. なお、上記の他に	122.5 億円	111.6 億円	10.9 億円
高効率給湯器導入支援事業	9.9	3.2	6.7
LPガス国家備蓄の推進	110.8	104.9	5.9
LPガス民間備蓄の推進	1.8	3.5	1.7

(注) 上記の内、印は平成17年度において当センターが直接あるいは間接に受託し、実施している事業です。

18年度より、事業の委託先等の選定については原則公募制が適用されることとなります。当センターとしては、これまで実施してきた事業を継続できるよう、対応することとします。

トピックス

韓国エルピーガス工業協会訪日調査団が振興センターを来訪

平成17年12月15日、総勢12名の韓国エルピーガス工業協会訪日団が当センターを訪問しました。当センターの事業概要を説明するとともに日韓両国のLPGガス産業事情などについて意見交換を行い、今後の相互の情報交換と交流拡大を約しました。

1. 訪日調査団の目的：日本のLPG産業の現況（流通、特にバルク供給の現況）把握、当センターの概況（設立目的、事業内容、課題、成果等）聴取、韓国LPGガス産業事情の説明

2. 訪日調査団の構成：韓国商務省産業資源部 2名（団長）
韓国ガス安全公社 1名
束草市地域経済課 3名
韓国エルピーガス工業協会 2名
E1 CORPORATION 1名
SKガス 1名
通訳他 2名

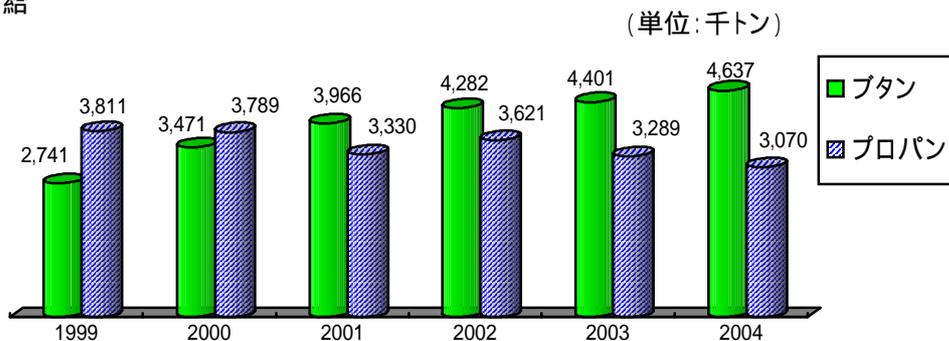
3. 聴取した韓国LPG事情

(1) 概要等

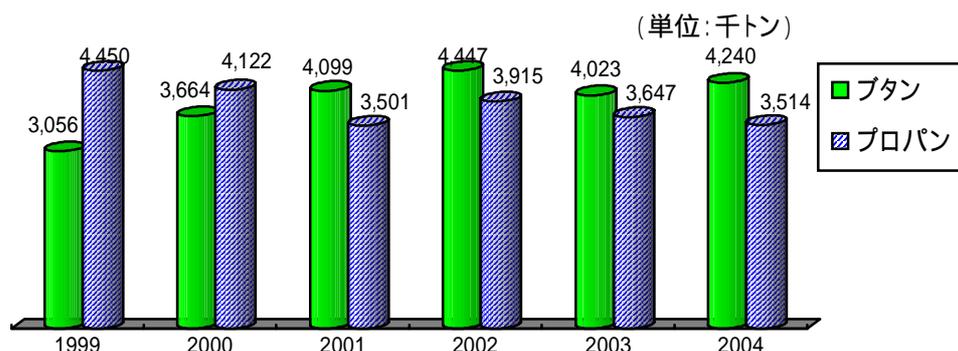
韓国に於いても流通コストの高さから、一般家庭用及び商工業用用途であるプロパンの需要が減少傾向にある。LPG産業の維持、育成の為に安定供給の確保、価格競争力の維持強化、新規開拓、が鍵になるとの認識を持っており、10月1日を「LPGの日」と定め、LPGガスの普及啓蒙を推進している。

また、韓国に於いてもDMEの推進を研究中であり、LPG輸入コストの低減や新規開拓といった分野で、今後日本との相互協力を図りたいと希望している。

(2) LPGの需給
需要



供給

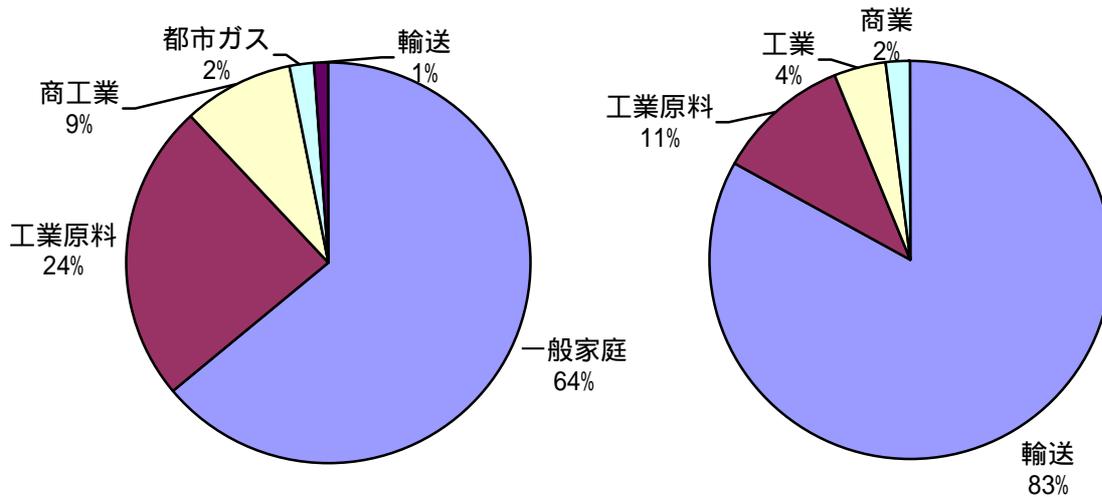


出典：韓国エルピーガス工業協会 資料

(3) LPG用途別需要(2004年)

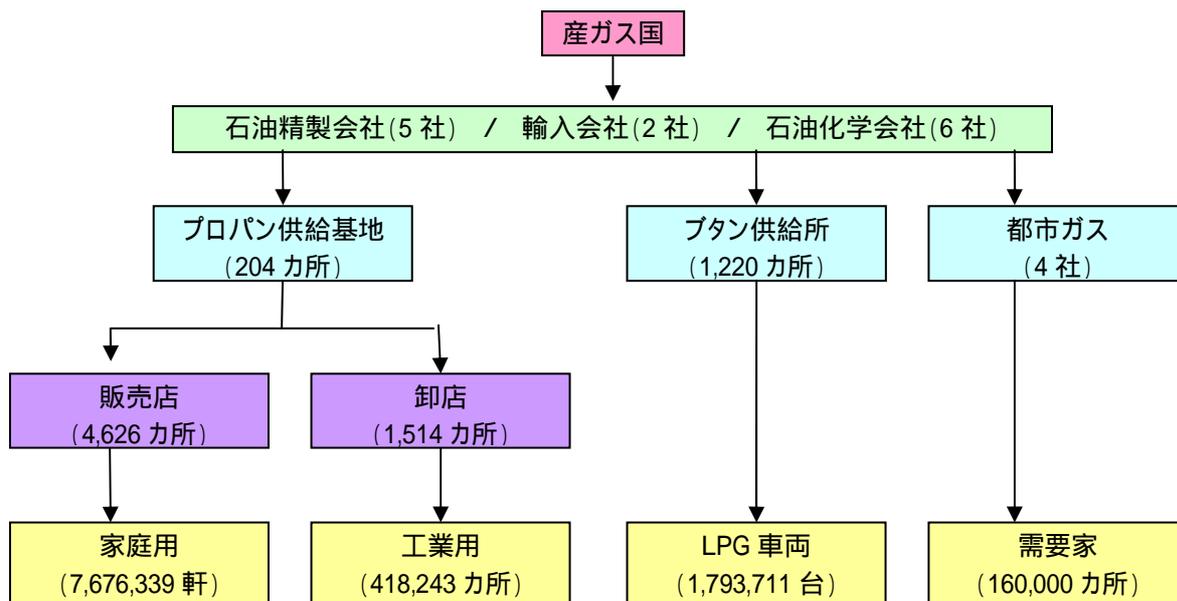
「プロパン 3,070千トン」

「ブタン 4,637千トン」



出典:韓国エルピーガス工業協会 資料

(4) LPガス流通構造(2004年)



出典:韓国エルピーガス工業協会 資料

各部・室からのお知らせ

設備助成事業室

平成17年度石油ガスコジェネ導入事業の実施概況

振興センターでは、昨年度に引き続き17年度の補助事業として経済産業省から委託を受け「石油ガスコジェネ導入事業」(制度名:石油ガス利用設備導入促進対策事業費補助金)に係わる補助事業者の募集を平成17年4月26日(火)～平成17年10月31日(月)の期間で行いました。

この事業は、LPガスの配送効率化による流通の合理化を通じ、LPガスの安定的かつ低廉な供給の確保を図ることを目的として、エネルギー効率の高い石油ガスコジェネの導入に要する費用の一部を補助するものです。

本年度は、制度の普及促進活動として全国6箇所における公募説明会、全国紙/業界紙を媒体とする新聞広告、及び当面のターゲットと捉えている病院、老人介護施設に対するDMの送付を行いました。その結果、本補助事業の募集に対しては、幅広い業種の事業者の方から問い合わせ、応募があり、申請書類の審査及びセンター内に設置した審査委員会において適正なる審査、評価を経て交付を決定しました。

平成17年度の採択案件は、10月末現在で以下の3件です。

番号	補助事業者名	補助事業名	補助事業の概要	省エネ率(%)	地域
				電力自給率(%)	
1	有限会社 稲荷鉱泉	(有)稲荷鉱泉における石油ガスコジェネ導入事業	銭湯の熱電供給用に50kW(25kW×2台)のG、E方式LPガスコジェネレーションシステムを設置する。健康ランド並みの施設を有する銭湯を新築し、LPガスの有効利用を図るとともに排熱利用でローコストな浴場運営を実施する。	30.1% 30.0%	富山県 富山市
2	共友リース株式会社 (社会福祉法人 同朋会)	社会福祉法人同朋会知的障害者更生施設「桜美寮」における石油ガスコジェネ導入事業	社会福祉法人同朋会の運営する知的障害者厚生施設の熱電供給用に51kWのG、T方式LPガスコジェネレーションシステムを設置する。LPガスの有効利用を図るとともに、排熱利用の衛生的な入浴を施設利用者に提供することでより良い福祉事業を展開する。(リース方式活用)	23.1% 15.0%	岐阜県 山県市
3	医療法人財団 新生会	医療法人財団 新生会大宮共立病院における石油ガスコジェネ導入事業	病院の熱電供給用に50kW(25kW×2台)のG、E方式LPガスコジェネレーションシステムを設置する。受電電力量の削減と排熱の入浴施設への利用等エネルギー利用の合理化を実施する。	30.0% 12.9%	埼玉県 さいたま市

これらの事業計画により、地球温暖化原因物質のCO₂の削減効果は、約224t/年が見込まれています。

なお、当初予定していた本補助事業の公募期間は既に終了いたしました。11月1日からは予算の範囲内において2次募集(事業完了期限、補助率、補助内容は1次募集と同内容)を実施しております。

また、18年度からは発電能力に係わる募集要件等が更に大幅に緩和され、一層利用しやすい制度となる予定です。一方、直近ではガス価格の高騰、電力価格の引下げ等石油ガスコジェネシステム導入に対する逆風もありますが、長期的な視点からはエネルギーの総合効率が高く経済的であることから、熱負荷が高い業種(病院、老人介護施設等)にとって同システムは大変有利なシステムといえますし、社会的な側面からは、環境負荷低減に対する貢献を果たすこともできます。

つきましては、皆様方におかれましては本補助制度を利用した石油ガスコジェネシステムの導入と、口コミ等によるPRをよろしくお願いいたします。

お問い合わせの方は、設備助成事業室までご連絡ください。
本補助事業の詳細については、振興センターHPをご覧ください。

特別養護老人ホーム 椿野苑様 (岐阜県 山県市)

マイクロガスタービンコジェネシステム概要

設置時期	2005年2月
台数	1台
発電出力	51kW
熱交換能力	101.2kW
総合エネルギー効率	76.0%
排熱用途	浴槽昇温・給湯、一般給湯、シャワー給湯



広報室「LPガス便利帳」のご紹介

広報室では、LPガスをお使いの一般消費者向け啓蒙活動の一環として、各種パンフレットを発行しています。LPガスの基礎知識、良さをPRするための「LPガスガイド」、LPガスの料金制度や取引について、知っておきたいことをQ&A形式にした「家庭用LPガスの取引に関するQ&A」、LPガスについてタイムリーでホットな情報をお届けする「LPガス便利帳」などです。

今回は、「LPガス便利帳」をご紹介します。

小誌は、“LPガスはこんな使われ方もあるんだ”“こんなところでも使われているんだ”といった、一般消費者の方々が知らない、あるいは普段は目にしない、様々な分野でLPガスの活躍を紹介する「LPガスのこないいいはなし」コーナー、女優、タレント、音楽家など皆様よくご存知の女性ゲストを迎えてお話しを聴く「MY LIFESTYLE」コーナー、LPガスを使った簡単レシピの「ミニ健康料理」コーナー、LPガスに係るさまざまな行事や講習会などのご案内や、小売価格情報を掲載する「Information」コーナーで構成されています。毎年3月、7月、11月の3回、それぞれ242千部発行しています。



< 58号(2005年11月) >

- * 「LPガスのこないいいはなし」
スウェーデンハウスのまちづくりに
LPガスも一翼を担う
- * 「MY LIFESTYLE」
「おさがり」気持ち大切に
ゲスト 三井ゆりさん
- * 「ミニ健康料理」
鮭の白菜ロールの材料と作り方
- * 「Information」
液化石油ガス懇談会がスタート

< 57号(2005年7月) >

- * 「LPガスのこないいいはなし」
夏の食卓を彩る素麺
仕上げの乾燥はLPガス
- * 「MY LIFESTYLE」
「自分の時間を大切に」
ゲスト 西村知美さん
- * 「ミニ健康料理」
ナスとトマトの豚ひき炒めの材料と作り方
- * 「Information」
平成17年度の「LPガス事情講習会」
がスタートしました



LP GAS便利帳は現在多くの一般消費者の方々にご愛読いただいております。内容についても、LPガス関係の情報や、身近な話題も多く紹介されており、大変興味深いとご好評をいただいております。

今後ともできるだけ多くの消費者のお手元に届くよう、消費者団体や販売事業者など多くの皆様からのご要望を頂きたいと思っております。

ご希望の方はご遠慮なく当センター広報室までお申し付けください。

Tel. 03-3507-0046 Fax. 03-3507-0048

調査研究部

「L P ガス国際セミナー 2006」の開催ご案内

今年も当センター恒例の国際交流事業の一環であります『L P ガス国際セミナー2006』を、下記にて開催いたします。

本年は、『高エネルギー価格時代に於けるL P ガスの今後について』を主テーマとしまして、中東のL P ガス主要輸出国、及びアジアのL P ガス主要消費国、並びにL P ガス関係機関・団体等から、多くの方々にプレゼンテーションしていただく予定にしております。

尚、初日23日のセミナー終了後に、歓迎レセプションを開催いたしますので、ご参加頂きたく、併せてご案内申し上げます。

[セミナー開催概要]

開催日：平成18年2月23日(木)終日 ~ 24日(金)午前中

場 所：第一ホテル東京 (新橋)

講 演(予定)：

1. 基調講演 ポーテン&パートナーズ社(英国) 主テーマ『変貌するL P ガス市場』
2. 日 本 資源エネルギー庁 資源燃料部 石油流通課
日本L P ガス協会、 同輸入協議会
3. 海 外 ガスリンク・ブローカーズ社(英国)、世界L P ガス協会(WLPGA)
アドノック社(アブダビ)、クエート石油社(クエート)
カタール石油社(カタール)、アラムコ社(サウジアラビア)
中国石油化工公司(中国)、E1社(韓国)、ヒンドスタン石油(HPCL, インド)
アラスカ天然ガス開発局(ANGDA, 米国)

技術開発部

DME 燃料実用化技術ガイドブック 発行のご案内

本書発刊にあたって

日本のエネルギー供給は、石油、石炭、天然ガス、原子力を中心に多様なエネルギーにより構成され、そのベストミックスを求めています。しかし、エネルギーの殆どを海外に依存している日本では、既存のエネルギーに替わる、より安価で安定的に確保でき、利便性、環境性、安全性に優れた新エネルギーが求められています。

そのようなエネルギー事情の中、新エネルギーとして注目を集めるのがDMEです。

しかし、DME 燃料実用化には安全性、燃料用DMEのスペック検討、LPガスインフラの転用実証など様々な課題が残されています。

本書は、そのような課題を解決すべく行われたDME燃料実用化基盤実証試験研究の成果を中心に、実証試験の内容と結果、関連する調査結果、海外のDMEに対する取り組み状況等についてわかりやすくとりまとめた(約400ページ)ものです。

DMEの実用化を検討する関係者の皆様方にとってお役に立つ内容となっております。ぜひご活用ください。

本書の概要 [目次] 内容は下記を予定しております。

インフラ転用編

LPガス設備のDME利用に際しての検討事項

LPガス輸入基地から充填所、オートガススタンドまでの流通インフラの各段階での検討課題をリストアップし、表の右欄に転用可能性の検討結果を索引できるようにしました。

実証試験設備と運転

DMEを機器類を通し全体システムの機能を確認するため、平成15年1月横浜液化ガスターミナル(株)敷地内に完成したDME燃料実用化実証試験設備の内容と運転状況等をまとめました。

各機器の実証試験運転結果

ガスと液の循環運転、安全性等の確認に係る各機器毎の、実証試験目的、実証試験成果、実用化の可能性と普及の見通し、今後の課題等についてまとめました。

LPガス輸入基地転用可能性調査

LPガス輸入基地の貯蔵設備(低温受入貯蔵設備・常温貯蔵出荷設備)の転用可能性の調査、検討結果についてまとめました。

輸送用インフラの転用可能性調査

輸送用インフラの転用可能性調査として、大型LPガス船転用可能性調査、内航タンカー転用可能性調査、タンクローリ転用可能性調査の検討結果についてまとめました。

DME燃料スペック編

DME燃料スペックの検討

DME燃料の流通や規格についての検討内容をまとめました。

DMEの各種分析試験法の検討

各種試験方法のDMEへの適用の可否などについて、その試験方法の紹介とともにまとめました。

市販ガス機器を用いた燃焼性評価

DMEの各種バーナにおける燃焼性評価、またDMEに不純物が混入した場合の燃焼性評価について、調査研究の実施内容及び結果等をまとめました。

海外動向

DMEの標準化、開発等に関連して海外の主要国はどのような点に関心を持っているのか、またどのような活動をしているのかについてまとめました。

付録

- 1.LPガスの主要機器と設備のマーケットでの実態調査、2.DMEの物性、3.DMEの自然気化評価モデル、4.LPガスインフラで使われている樹脂の適合性試験についてまとめ載せました。

発行の時期

平成18年2月下旬(予定)

事務局からのお知らせ

通常理事会・評議員会の開催(予定)

当(財)エルピーガス振興センターの平成17年度第二回通常理事会及び評議員会を、下記にて開催を予定しています。

日時：平成18年3月16日(木) 評議員会 13:00～ 理事会 15:00～
場所：当センター会議室にて
議案：平成18年度事業計画 (報告事項)平成17年度事業の進捗状況
平成18年度収支予算 (報告事項)平成17年度収支見通し
理事選任 ならびに 評議委員委嘱 その他

編集後記

新年明けましておめでとうございます。皆様には良い年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

長期予報が、暖冬から一転して厳冬になり、寒い日が続きますが、L Pガスは如何でしょうか。

日本海側を中心とした大雪は、積雪量も降雪量も気象観測以来の記録で、関係の皆様にはL Pガスの生命線である配送や保安の対策に何かと忙しくご心労多きことと思ひ、誠にお疲れ様です。

さて、本年1月のC P価格ですが、プロパンは575\$、ブタンは585\$とこれまでの最高値を更新し、原油(A L)比率も130%に上昇し、予測のつかない事態に関係者の悲鳴が聞こえてきます。

これは、原油高に加え、ヨーロッパや日本の寒波により消費量が伸びたことや日本始めアジア消費国の在庫水準が低いことなどから生じた需給逼迫による急上昇でした。

本紙でもご案内した通り、来る2月23～24日には「L Pガス国際セミナー2006」を開催することとしていますが、この場では、産ガス国と消費国がお互いの立場を超えて、Win-Winの関係になれるような話し合いができればと願っているところです。

本紙では、各部・室からのお知らせを載せました。

設備助成事業室からは「石油ガスコジェネ導入事業」について紹介しましたが、熱負荷の高い施設を検討している方におかれては、L Pガスのコジェネを設置し、是非当制度をご利用願いたいと思います。

広報室からは「L Pガス便利帳」について紹介しましたが、これは消費者にL Pガスの良さを理解してもらうための広報誌として作成しているもので、多くの消費者の手元に届くよう、消費者団体や販売事業者等からのご要望を頂きたいと思ひます。

また、当センターでは「DME燃料実用化技術ガイド」を発行することとしています。

本書は、平成14年度～16年度に当センターが実施したDME燃料実用化のためのL Pガスインフラ転用事業の成果等をまとめたものです。DMEの燃料の実用化のためのガイドとしてご利用いただければ幸いです。

最後になりましたが、本年がL Pガス業界にとって良い年でありますよう祈念し、併せて本年も(財)エルピーガス振興センターを宜しくお願ひ申し上げます。

財団法人 エルピーガス振興センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 19 番 5 号 虎ノ門一丁目森ビル

TEL : 03 - 3507 - 0041 (代表)

03 - 3507 - 0046 (広報室)

03 - 3507 - 0047 (設備助成事業室)

FAX : 03 - 3507 - 0048 (代表)

03 - 5251 - 3663 (設備助成事業室)

ホームページURL : <http://www.lpgc.or.jp>

Eメールアドレス : info@lpgc.or.jp



送付先変更等のご連絡は、現在の送付先と変更後の送付先を明記の上、FAX又はEメールをお願いします。